



参加者とダンスをするフィリップさん(左)

水俣病患者とダンス療法

仏の舞踏家

水俣発

難病患者への
ダンスセラピー

などに取り組むフランス人舞踏家2人が17日、水俣市内でダンスのワークショップを行った。

2人はフィリップ・シェールさん(47)とジュリー・サルグさん(45)。遺伝性の神経難病である「ハンチントン病」患者のダンスセラピーに取り組んだ経験があることから、水俣病患者らが住む同市を訪問した。10日から滞在し、水俣病の犠



牲になった命をまつる「乙女塚」や福祉施設などで患者らとダンスをしてきた。

17日は水俣病の原因企業・チッソの工場跡地で行われ、約20人が参加。フィリップさんと一緒に工場の敷地内を歩きながら、手を空

に向けて広げたり、頭を抱え込んだりするなどした。

フィリップさんは「水俣病患者とのダンスはとても深い体験だった。言葉以外の方法で相手を知ることができた。また水俣を訪れたい」と話していた。